

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

政策3 「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」は、核家族化、少子化の進行など子供を取り巻く環境が大きく変化している中で、安心して子供を産み育てることができ、すべての子供がその個性を尊重され健やかに成長できる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策3の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.3%、低認知度群は60.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性(41.5%)が男性(36.5%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(47.1%)が65歳未満(36.4%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、項認知度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策3 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.3	35.0	39.3	49.5	11.3	60.8	100.0

性別	男性	4.8	31.7	36.5	50.5	13.0	63.5	100.0
	女性	3.9	37.6	41.5	48.8	9.7	58.5	100.0
年齢別	65歳未満	3.2	33.2	36.4	51.5	12.1	63.6	100.0
	65歳以上	7.5	39.6	47.1	44.0	8.9	52.9	100.0

圏域別	仙台	3.8	37.1	40.9	47.4	11.7	59.1	100.0
	仙南	1.7	35.4	37.1	50.7	12.2	62.9	100.0
	大崎	6.6	37.6	44.2	44.7	11.1	55.8	100.0
	栗原	5.4	33.5	38.9	50.4	10.8	61.2	100.0
	登米	6.0	35.8	41.8	47.7	10.6	58.3	100.0
	石巻	4.4	33.3	37.7	52.5	9.8	62.3	100.0
	気山沼・本吉	2.9	33.5	36.4	52.2	11.4	63.6	100.0

有効回答者数 1,615 名

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 59.2%、低認知度群は 40.8%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（85.7%）が、回答者全体と比較して 26.5 ポイント高い。

石巻圏域（47.6%）が、回答者全体と比較して 11.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策3 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	9.7	49.5	59.2	37.1	3.7	40.8	100.0	
圏 域 別	仙台	10.7	46.4	57.1	39.3	3.6	42.9	100.0
	仙南	7.4	55.6	63.0	35.2	1.9	37.1	100.0
	大崎	10.7	46.7	57.4	34.7	8.0	42.7	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	16.7	41.7	58.4	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	9.5	38.1	47.6	52.4	0.0	52.4	100.0
	気山沼・本吉	5.7	57.1	62.8	34.3	2.9	37.2	100.0
有効回答者数 321 名								
学識者等全体	7.6	42.4	50.0	47.0	3.0	50.0	100.0	
有効回答者数 66 名								

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

2. 政策3の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は91.3%、低関心度群は8.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(92.9%)が男性(89.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(91.9%)が65歳未満(91.0%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策3 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	48.9	42.4	91.3	7.2	1.6	8.8	100.0

性別	男性	45.8	43.5	89.3	8.5	2.2	10.7	100.0
	女性	51.2	41.7	92.9	6.2	0.9	7.1	100.0
年齢別	65歳未満	46.3	44.7	91.0	7.6	1.4	9.0	100.0
	65歳以上	55.3	36.6	91.9	6.4	1.7	8.1	100.0

圏域別	仙台	50.9	39.0	89.9	8.3	1.8	10.1	100.0
	仙南	47.5	43.6	91.1	6.8	2.1	8.9	100.0
	大崎	48.9	41.7	90.6	8.1	1.3	9.4	100.0
	栗原	52.5	40.7	93.2	4.9	1.9	6.8	100.0
	登米	50.5	43.7	94.2	5.9	0.0	5.9	100.0
	石巻	44.9	43.2	88.1	9.7	2.2	11.9	100.0
	気山沼・本吉	43.7	46.8	90.5	8.3	1.2	9.5	100.0

有効回答者数 1,654 名

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は94.3%、低関心度群は5.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)と登米圏域(100.0%)では共に5.7ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は98.5%、低関心度群は1.5%である。

(%)

政策3 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	49.1	45.2	94.3	5.4	0.3	5.7	100.0	
圏 域 別	仙台	51.3	41.9	93.2	6.8	0.0	6.8	100.0
	仙南	57.1	41.1	98.2	1.8	0.0	1.8	100.0
	大崎	44.2	50.6	94.8	3.9	1.3	5.2	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	58.3	41.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	31.8	59.1	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	気山沼・本吉	50.0	42.1	92.1	7.9	0.0	7.9	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	56.7	41.8	98.5	1.5	0.0	1.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策3の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より54.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は85.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は35.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より54.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は82.5点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は27.5点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より52.2%と推定できる。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.2	(93.8)
満足度 60点未満の割合		60.4
要検討領域にある回答者全体の割合		54.2

有効回答者数；重視度 1,656人、満足度 1,624人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	1656	1624
	欠損値	65	97
平均値		81.82	51.09
平均値の標準誤差		.378	.443
中央値		80.00	50.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		15.393	17.838
分散		236.940	318.180
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されず。

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	85.0	50.0	35.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	40.0	35.0
第3四分位数(75パーセントイル)	91.3	60.0	31.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.3	(96.7)
満足度 60点未満の割合		57.9
要検討領域にある回答者全体の割合		54.6

有効回答者数；重視度 334人、満足度 330人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	334	330
	欠損値	4	8
平均値		83.26	51.70
平均値の標準誤差		.742	.902
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		13.556	16.387
分散		183.762	268.540
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	91.25	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	82.5	55.0	27.5
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	40.0	35.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	1.5	(98.5)
満足度 60点未満の割合		53.7
要検討領域にある回答者全体の割合		52.2

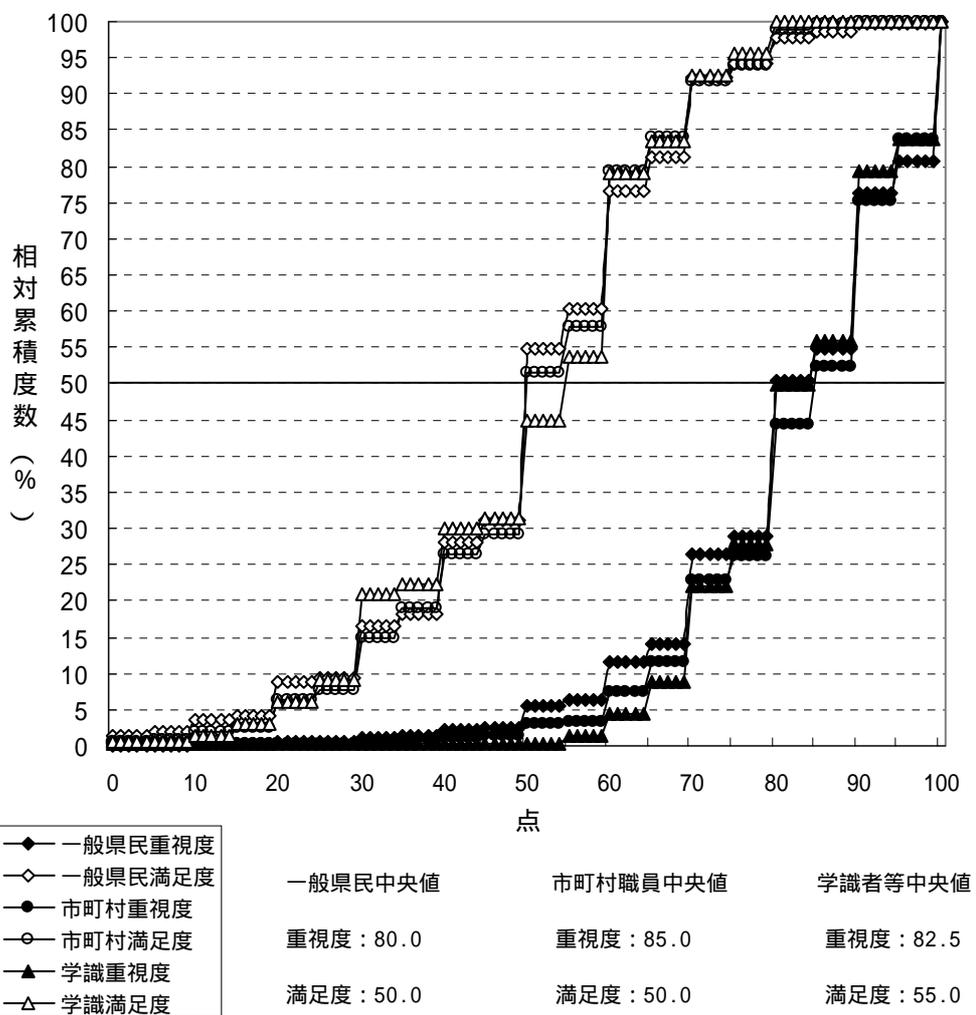
有効回答者数；重視度 68人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	68	67
	欠損値	1	2
平均値		83.31	51.34
平均値の標準誤差		1.416	2.050
中央値		82.50	55.00
最頻値		90	60
標準偏差		11.674	16.778
分散		136.276	281.502
範囲		45	70
最小値		55	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	82.50	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	60.00

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

「政策3 子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（85.0点）が男性（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（35.0点）が男性（30.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(7.5点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性57.2%、女性51.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

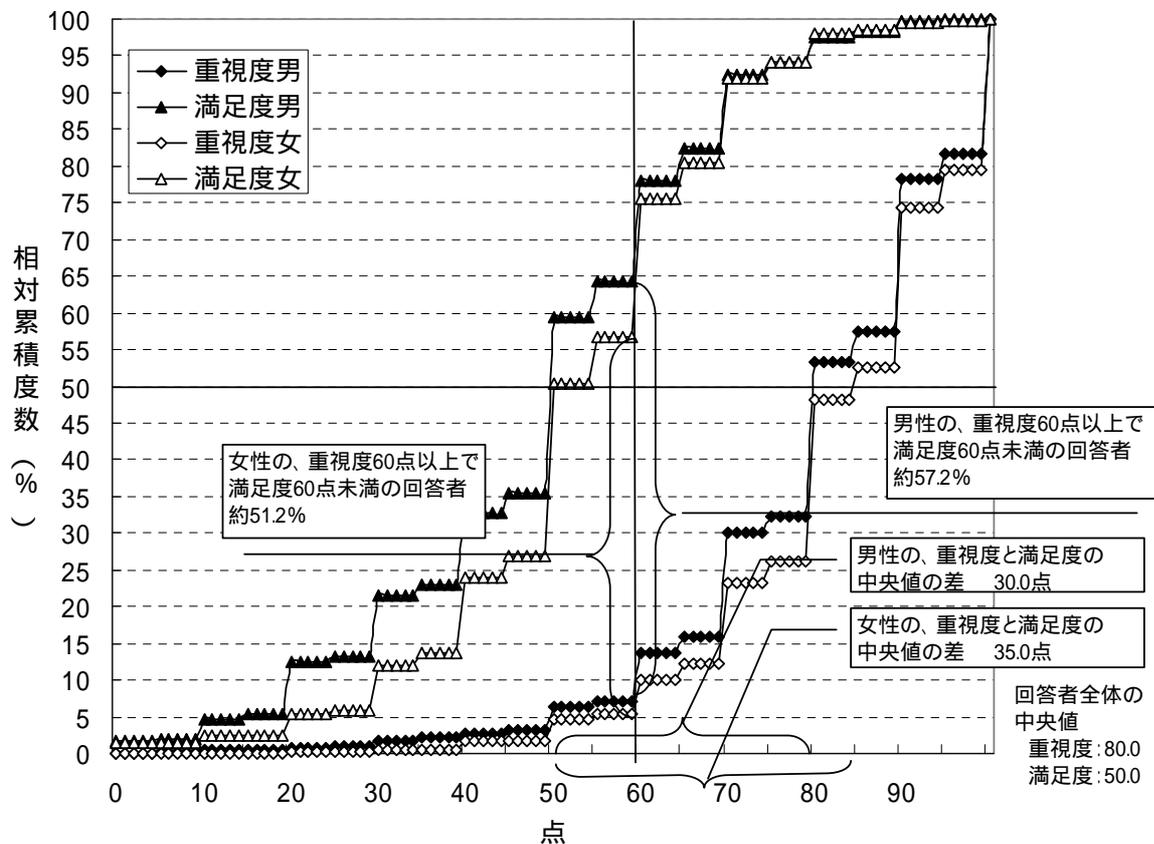
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	35.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	30.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	95.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	35.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.1	(92.9)	5.5	(94.5)
満足度 60点未満の割合	64.3		56.7	
要検討領域にある回答者全体の割合	57.2		51.2	

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	779	761
	欠損値	24	42
平均値		80.56	49.08
平均値の標準誤差		.585	.686
中央値		80.00	50.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		16.331	18.930
分散		266.686	358.363
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	859	845
	欠損値	37	51
平均値		82.96	52.98
平均値の標準誤差		.492	.568
中央値		85.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.427	16.497
分散		208.141	272.138
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	75.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	95.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

3 2 - 2 65歳年齢区分別

重視度の中央値は、65歳未満（85.0点）が65歳以上（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（55.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（35.0点）が65歳以上（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満（12.5点）が65歳以上（10.0点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満56.6%、65歳以上47.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

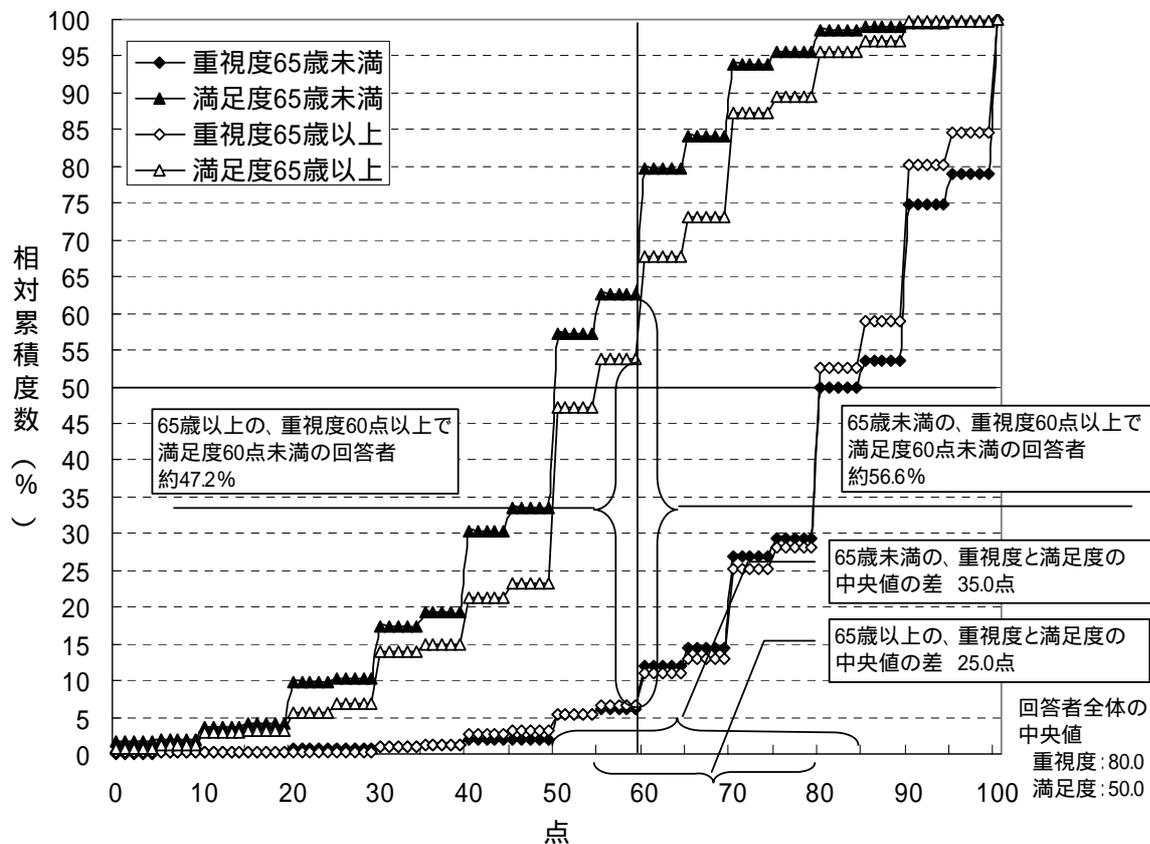
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	85.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	35.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	30.0	35.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0 (94.)	6.6 (93.4)
満足度60点未満の割合	62.6	53.8
要検討領域にある回答者全体の割合	56.6	47.2

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	1212	1191
	欠損値	28	49
平均値		82.03	49.88
平均値の標準誤差		.448	.508
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		15.592	17.547
分散		243.107	307.885
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	95.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	424	413
	欠損値	33	44
平均値		81.31	54.77
平均値の標準誤差		.712	.884
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.655	17.974
分散		214.772	323.066
範囲		75	100
最小値		25	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(87.5点)が回答者全体(80.0点)よりも7.5ポイント高く、仙台圏域(85.0点)、石巻圏域(85.0点)の2圏域が5.0ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙台圏域(90.0点)、仙南圏域(90.0点)、栗原圏域(90.0点)、気仙沼・本吉圏域(90.0点)の4圏域が回答者全体(85.0点)よりも5ポイント高く、登米圏域(77.5点)が7.5ポイント、石巻圏域(70.0点)が15ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、石巻圏域(10.0点)の2圏域が回答者全体(8.1点)よりも大きく、仙台圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)、仙南圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)、栗原圏域(17.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、石巻圏域(8.1点)、登米圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	87.5	80.0	85.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	35.0	30.0	25.0	37.5	30.0	35.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	40.0	30.0	30.0	30.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	35.0	25.0	35.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	12.5	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	85.0	90.0	90.0	85.0	90.0	77.5	70.0	90.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	35.0	40.0	40.0	25.0	40.0	17.5	20.0	40.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	75.0	80.0	80.0	75.0	80.0	71.3	65.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	30.0	55.0	45.0	35.0
	かい離	35.0	40.0	40.0	25.0	50.0	16.3	20.0	35.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	91.3	95.0	90.0	90.0	95.0	85.0	85.0	100.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	68.8	61.3	60.0
	かい離	31.3	35.0	30.0	30.0	30.0	16.3	23.8	40.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	8.1	7.5	5.0	7.5	7.5	6.9	10.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	5.0	17.5	6.9	8.1	12.5

4. 政策3の各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(35.1%)である。

第2位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(29.4%)である。

第3位は施策7「青少年の健全育成」(8.1%)である。

市町村職員では、

第1位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(39.5%)である。

第2位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(27.2%)である。

第3位は施策3「多様な保育サービスの充実」(10.8%)である。

学識者では、

第1位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(33.3%)である。

第2位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(27.5%)である。

第3位は施策3「多様な保育サービスの充実」(15.9%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、男性では施策7「青少年の健全育成」、女性では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」である。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、65歳未満では施策7「青少年の健全育成」、65歳以上では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」である。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の6圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、気仙沼・本吉圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の6圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」である。

第3位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の4圏域では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」、仙台、仙南の2圏域では施策7「青少年の健全育成」、石巻圏域では施策6「子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実」である。

市町村職員では、

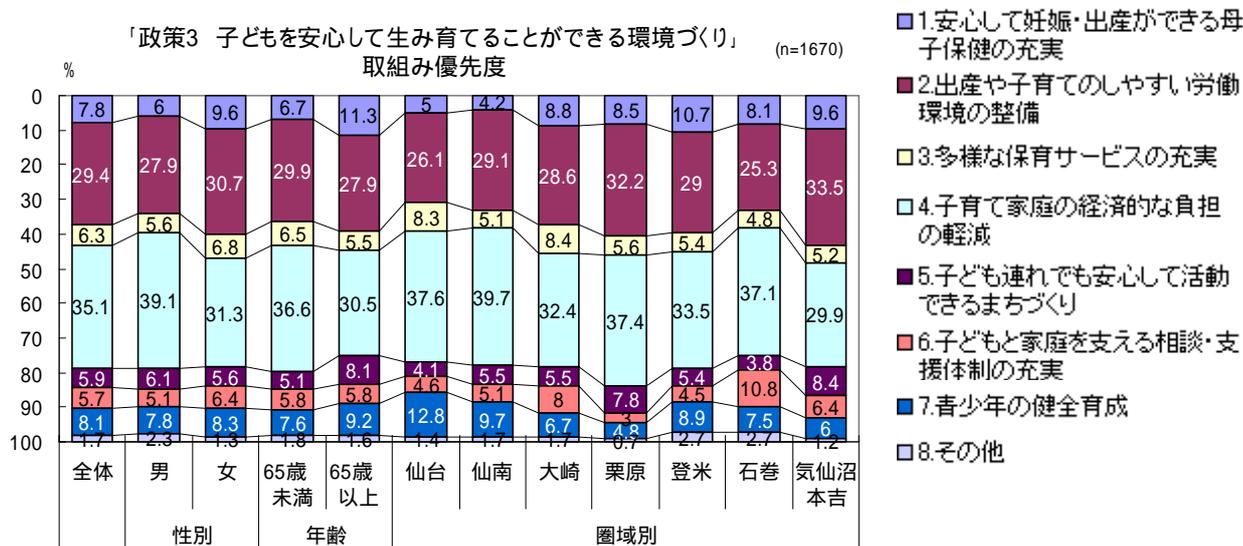
第1位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」、栗原圏域では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」と施策3「多様な保育サービスの充実」、石巻圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」である（栗原圏域では施策1と施策3が共に第1位になっている）。

第2位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の4圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、登米圏域では施策3「多様な保育サービスの充実」、石巻圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」と施策6「子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実」と施策7「青少年の健全育成」である（石巻圏域では施策2と施策6 施策7が共に第2位になっている）。

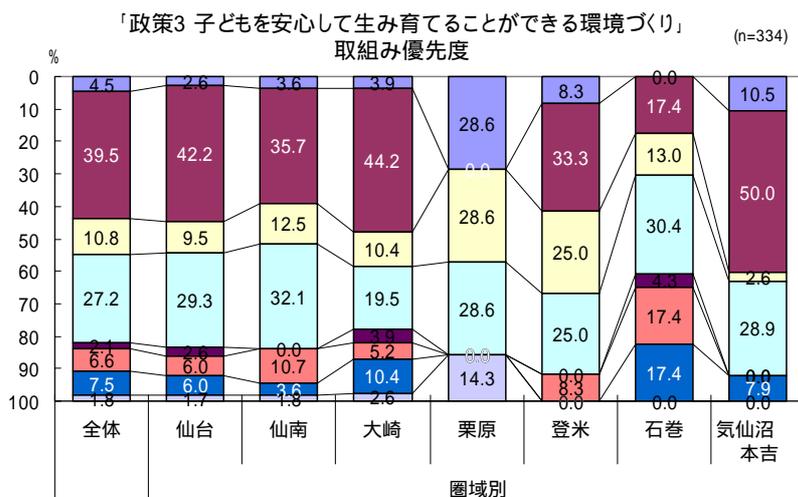
第3位は、仙台、仙南、大崎の3圏域では施策3「多様な保育サービスの充実」、栗原、登米の2圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、大崎圏域では施策7「青少年の健全育成」、気仙沼・本吉圏域では施策7「青少年の健全育成」である（大崎圏域では施策3と施策7が共に第3位になっている）。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

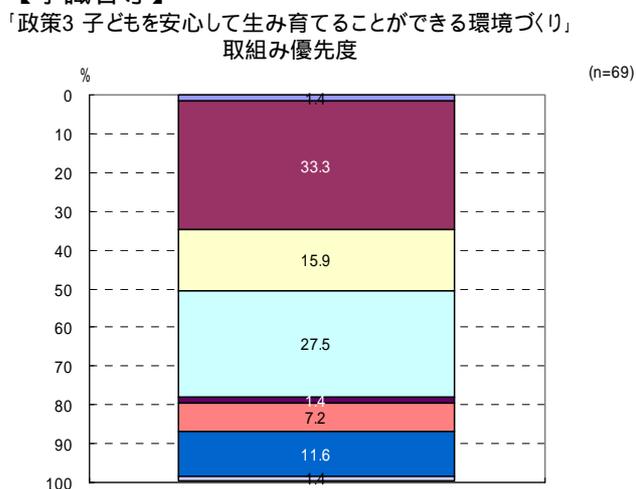
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	7.8	6.0	9.6	6.7	11.3	5.0	4.2	8.8	8.5	10.7	8.1	9.6
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	29.4	27.9	30.7	29.9	27.9	26.1	29.1	28.6	32.2	29.0	25.3	33.5
3	3.多様な保育サービスの充実	6.3	5.6	6.8	6.5	5.5	8.3	5.1	8.4	5.6	5.4	4.8	5.2
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	35.1	39.1	31.3	36.6	30.5	37.6	39.7	32.4	37.4	33.5	37.1	29.9
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	5.9	6.1	5.6	5.1	8.1	4.1	5.5	5.5	7.8	5.4	3.8	8.4
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	5.7	5.1	6.4	5.8	5.8	4.6	5.1	8.0	3.0	4.5	10.8	6.4
7	7.青少年の健全育成	8.1	7.8	8.3	7.6	9.2	12.8	9.7	6.7	4.8	8.9	7.5	6.0
8	8.その他	1.7	2.3	1.3	1.8	1.6	1.4	1.7	1.7	0.7	2.7	2.7	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	4.5	2.6	3.6	3.9	28.6	8.3	0.0	10.5
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	39.5	42.2	35.7	44.2	0.0	33.3	17.4	50.0
3	3.多様な保育サービスの充実	10.8	9.5	12.5	10.4	28.6	25.0	13.0	2.6
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	27.2	29.3	32.1	19.5	28.6	25.0	30.4	28.9
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	2.1	2.6	0.0	3.9	0.0	0.0	4.3	0.0
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	6.6	6.0	10.7	5.2	0.0	8.3	17.4	0.0
7	7.青少年の健全育成	7.5	6.0	3.6	10.4	0.0	0.0	17.4	7.9
8	8.その他	1.8	1.7	1.8	2.6	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	1.4
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	33.3
3	3.多様な保育サービスの充実	15.9
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	27.5
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	1.4
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	7.2
7	7.青少年の健全育成	11.6
8	8.その他	1.4

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」